



CAN-Japan : 国連気候変動ボン会議報告会 (SB48/APA1-5)

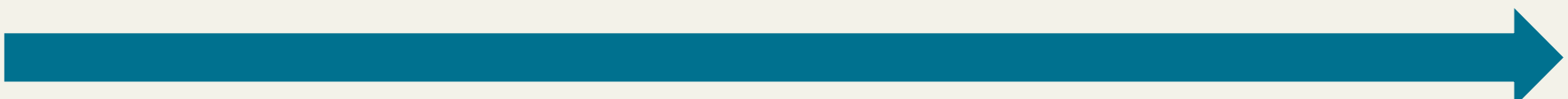
パリ協定の詳細ルール交渉 ボンで何が議論されたか

WWFジャパン
気候変動・エネルギーグループ長
山岸 尚之

2018年6月14日 (木)



今年の予定



4月30日～5月10日
ドイツ・ボン

パリ協定特別作業部会
第1回第5セッション
(APA1-5)
補助機関第48回会合
(SB48)

9月4日～9月9日
タイ・バンコク

パリ協定特別作業部会
第1回第6セッション
(APA1-6)
補助機関第48回再開会合
(SB48)

12月3日～12月14日
ポーランド・カトヴィツェ

国連気候変動枠組条約
第24回締約国会議
(COP24)



今回



パリ協定のルールブック
（「実施指針」）
に合意予定



今は何を話し合っているのか？

2015

パリ協定の採択

2016

パリ協定の発効

2017

ルールブック策定に向けた交渉

2018

パリ協定の「ルールブック」完成

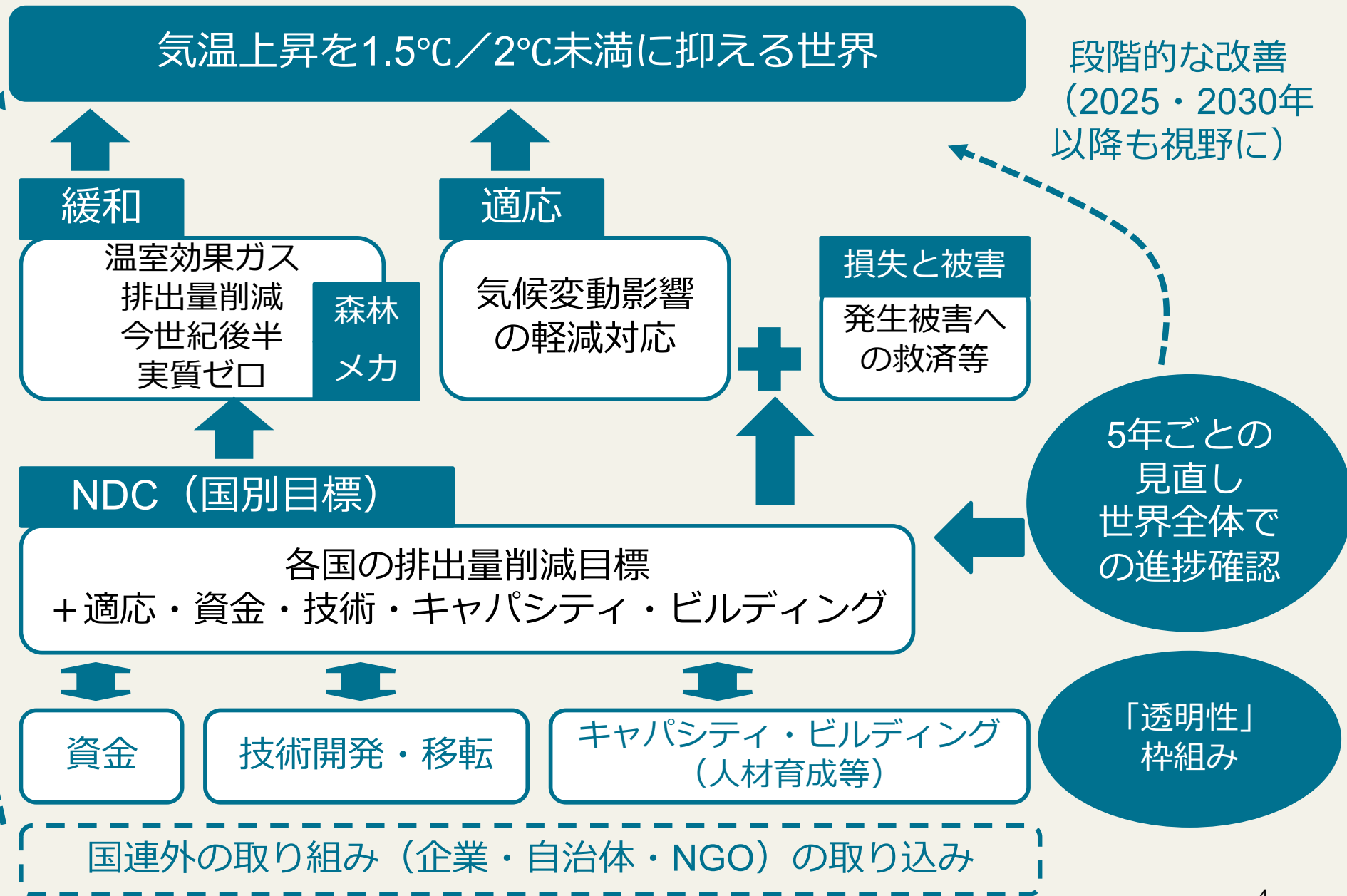
2020

パリ協定の実施へ





パリ協定の全体像





パリ協定特別作業部会（APA）の議題

議題項目（数字が議題の番号）	内容
3 国別目標（NDC）への指針	（次回以降の）国別目標に <u>何を書き、どうやってその進捗や達成を測る</u> のか。「特徴（features）」「情報（information）」「算定（accounting）」と呼ばれる3つのサブトピックがある。
4 適応報告への指針	適応報告に <u>何を書く</u> のか。現状、適応対策を報告する仕組みは、上記NDCも含め、この「適応報告」以外にも複数あるため、共通・差別化された指針を作るのかどうか
5 透明性枠組みの様式・手続き・ガイドライン	各国に <u>どのように取り組みを報告</u> させ、それを <u>国際的にチェック</u> するのか。「様式、手続き、ガイドライン」の略称として「MPGs」という言葉が使われる。
6 グローバル・ストックテイクに関する事項	5年ごとの世界全体での進捗確認は、 <u>どのような情報</u> を基に <u>どう行う</u> のか
7 実施促進・遵守推進委員会の様式および手続き	どのように、各国が <u>国別目標を守るように促すか</u> 。 <u>万が一守れなかった場合</u> はどうか
8 その他の事項	上記には含まれないルール関連事項 ・ 適応基金の扱い ・ パリ協定9条5項の下での資金支援に関する情報提供のあり方 等



SBの議題（主要なもののみ）

SBI（実施に関する補助機関）

議題項目（数字が議題の番号）	内容
5 共通のタイムフレーム	次の国別目標の <u>目標年は「2035年」か「2040年」か</u>
6 国別目標（NDC）に関する登録簿の様式・手続き	<u>国別目標（NDC）の登録簿</u> にどのような機能を持たせるか
7 適応報告に関する登録簿の様式・手続き	<u>適応報告の登録簿</u> にどのような機能を持たせるか
15 気候資金に関わる事項	先進国（および自主的な資金支援国）は <u>資金支援に関してどのような情報を提示するか</u>

SBSTA（科学的・技術的な助言に関する補助機関）

議題項目（数字が議題の番号）	内容
12 パリ協定6条に関わる事項	<u>新しい市場メカニズムおよび非市場メカニズム</u> をどのように設計するか
13 パリ協定第9条7項の下で、公的介入により供与・動員された資金の算定に関する様式	先進国（および自主的な資金支援国）が行う供与・動員は <u>どのように算定</u> されるか

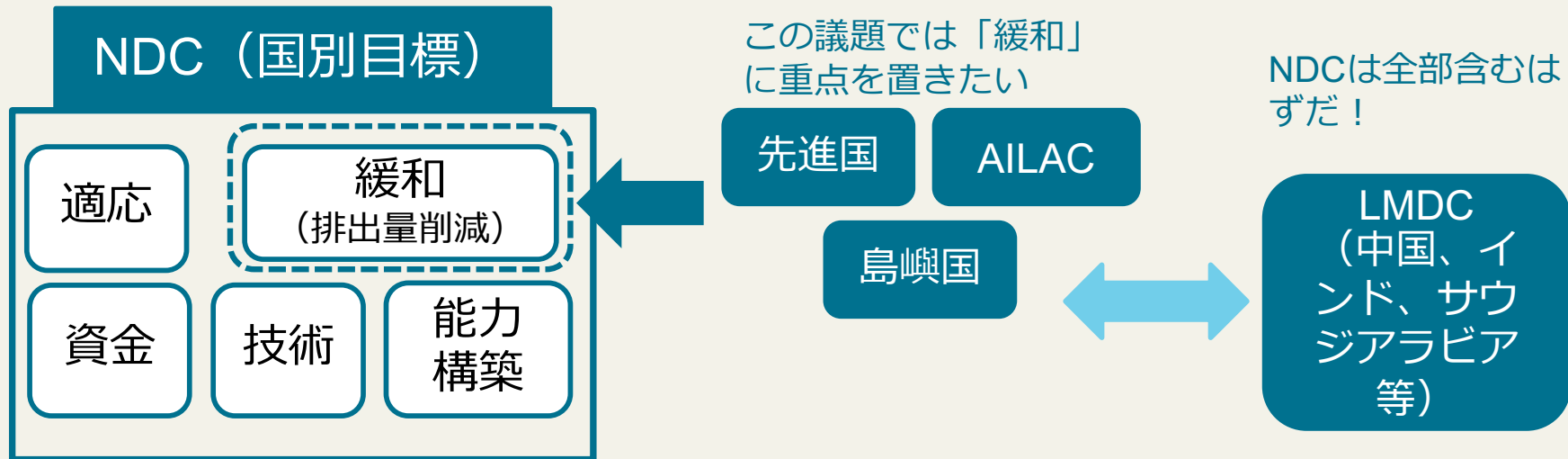




主な対立点

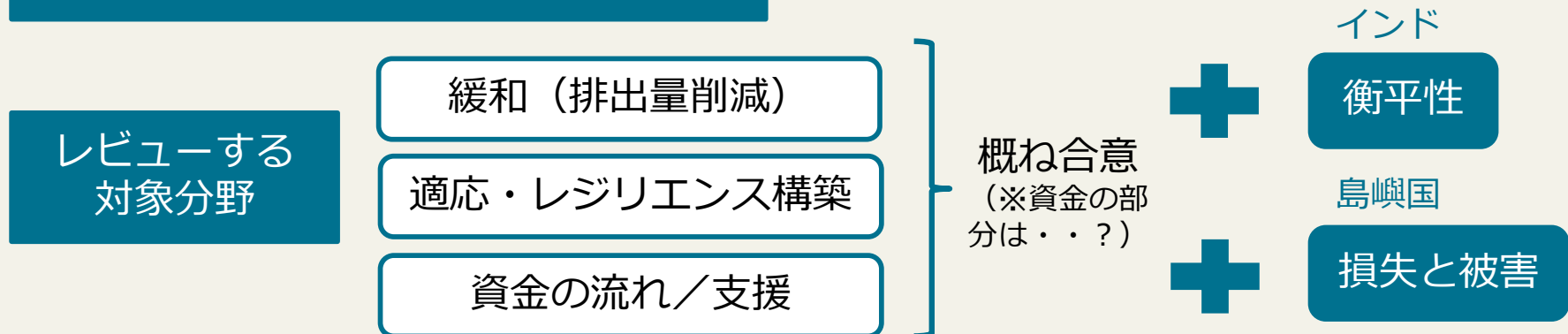
例1：NDCに対するガイダンス (APA議題項目3)

= 目標達成の確認の仕方、次回目標を作る際には、何を書くべきか



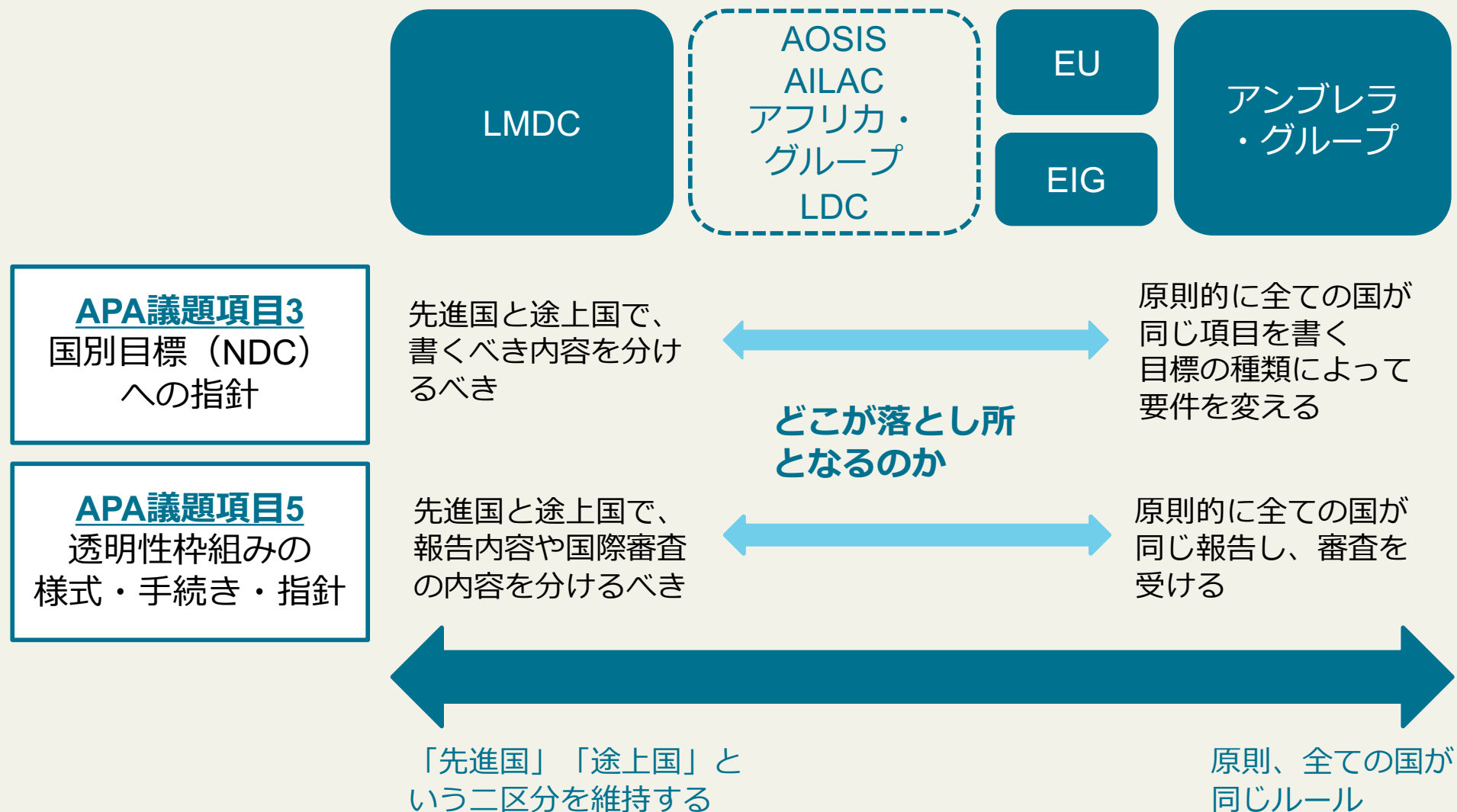
例2：グローバル・ストックテイク (APA議題項目5)

= 5年ごとの世界的な対策のレビューは、何を情報源として、どのように行うのか





交渉の難点：依然として続く差異化をめぐる対立



※上記2つの議題項目以外にも「差異化」の議論は登場する。ここではあくまで代表例として2つの議題項目を取り上げた。



■ 8月1日の「ツール」

- APAの共同議長が「ツール」と呼ばれる文書を作成する
 - まとめに向けての提案
 - 今後、どのように締約国が交渉のベースとなるテキストを作成して行くことができるかについての、「たとえば」の例
- いわゆる「交渉テキスト」ではない
- しかし、議長にそろそろまとめの役割を果たしてもらう

■ 9月のバンコク会合

- 約1週間の会議 → どこまで？

※APAに関しては、FCCC/APA/2018/L.2 がマイナー修正のみでほぼそのまま今回のセッションの結論として採択されている。



まとめ

- 交渉の雰囲気そのものは悪くはない
 - 対立点はあるつつも、過去の交渉と比較すれば建設的
- 問題はスピード
 - COP24という締切を考えるとやや心配

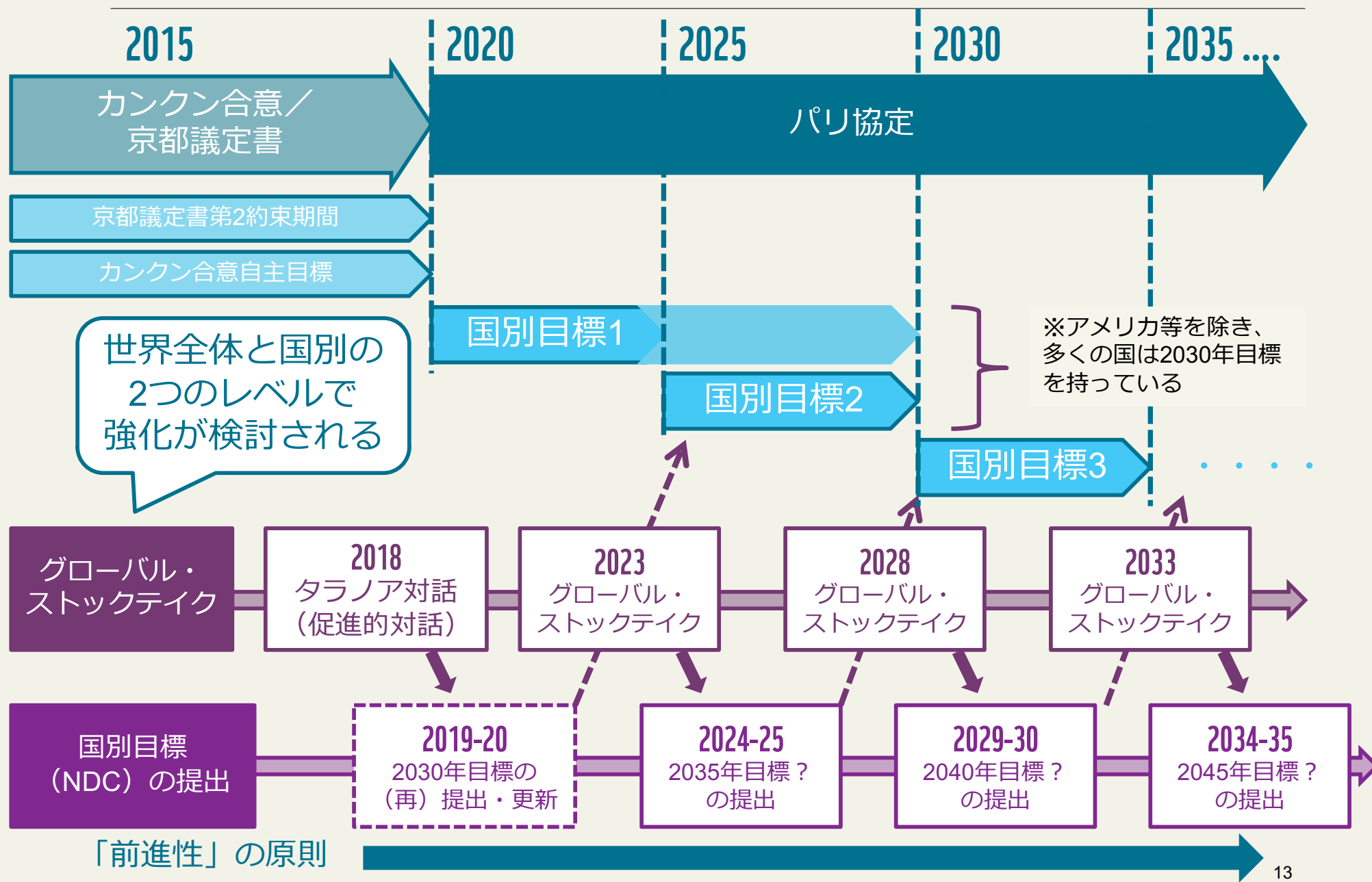


これからもご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます

<http://www.wwf.or.jp/join/>
<http://shop.wwf.or.jp>



5年サイクルでの改善の仕組み





主要グループ

※この図は網羅的ではありません。また、一部、メンバー国の重なりを反映できておりません。

